

住

東海地区サッシ施工協会

窓、ドアなど金属製建具の施工

業界の健全な発展を目的に協会を設立

ビルやマンションの窓枠の多くは金属でできています。金属の素材は、鉄やステンレスなどいろいろありますが、圧倒的に多いのがアルミです。サッシの取付というと、窓枠の取付工事だけのように考えられがちですが、ドアの取付、ビルの壁面に張り架けるカーテンウォール、コンビニの庇の取付などの施工も行っています。

日本はもともと木造家屋が中心で、窓や戸などの建具はほとんどが木製でした。戦後になって鉄筋コンクリートの建物が増え、窓枠やドアなども金属製になっていきました。最初は鉄製がメインでしたが、軽くて丈夫なアルミ製サッシがつくられるようになり、今ではサッシといえばアルミ製がほとんどです。

戦後、住宅不足を解消するため、昭和30年(1955)に日本住宅公団が設立され、大都市を中心に鉄筋コンクリートの集合住宅がつくられるようになり、取り付けを専門とするサッシ施工業者が次々と現れました。しかし、従来の木製の建具とは取り付け方が異なるため熟練のサッシ取付工が足りず、業界内で



窓やドアからカーテンウォールまで、サッシ施工の幅は広がっている



安全を十分確保しながら高所作業

熟練者の引き抜きが行われていました。業界の健全な発展のため、そうしたことを止めようと組合がつくられ、昭和50年(1975)に東海地区サッシ施工協会が設立されました。加盟社は現在12社です。

防災、セキュリティーなどにも 細心の注意を払いながら施工

ビルやマンションなどの高層化が進み、安全管理がますます厳しく求められています。また、取付時に溶接を行うことが多く、工事中の火災事故防止なども心がけなければなりません。さらにセキュリティーの関係から、建物の図面や構造が外部に漏れないようにすることも施主や工事の元請業社から厳しく求められています。協会ではこうした安全やセキュリティーに関する情報交換などを行っています。

また、社会貢献の一環として、平成3年(1991)からは名古屋市が関係する高齢者福祉施設の古くなったサッシなどの補修をボランティアで行っています。

- 職種：サッシ取付工
- 組合設立年：昭和50年
- 組合住所：名古屋市西区笠取町1-55
- 電話：052-532-8808
- ファックス：052-532-5298
- ホームページ：――